

平成 29 年度

《自平成 29 年 7 月 1 日至平成 30 年 6 月 30 日》

事 業 計 画 書

+

一 般 財 団 法 人 神 道 文 化 会

## 平成29年度事業計画書

### I、実施事業(継続事業)(定款第4条1号から第5号)

#### 1、神道の思想・文化に関する研究及び情報提供

##### (1) 学術研究書「神道文化叢書」の企画・編集

神道の思想や文化に関する高度な学術研究について公表の機会を提供するため、「神道文化叢書」を刊行している。本年度は第43輯 仮題『神をまつる神社建築—玉殿の起源と発展に関する研究—』山田岳晴氏(青山学院短期大学・河内神社禰宜)を刊行予定。(別紙1参照)

##### (2) 機関誌「神道文化」の発行

神道文化の普及、神道精神の昂揚を目的として、機関誌を発行している。随筆、対談(座談会)、学術小論文等を掲載。本年度は第30号を発行予定。

#### 2、講演

毎年1回「神道文化」をテーマにした公開講演会や大学教授らによるミニシンポジウムを開催している。

対象：一般公衆(ホームページ、ポスター掲示、チラシ配布、ダイレクトメール等により参加者を募集)

#### 3、神道文化功労者表彰

毎年、当会の「神道文化表彰規程」に基づき、神道文化の昂揚、普及、研究に功績のあった個人もしくは団体を選定し、表彰を行っている。

表彰対象は以下の通りである。

- 1 多年神道文化高揚に精励し、その功績拔群なる個人もしくは団体
- 2 神道文化に関する学術研究において、その功績の顕著なるもの
- 3 神道ならびに神社に関する広報・教化活動において、その功績顕著なるもの
- 4 神道関係団体において、その活動が優秀なるもの
- 5 神道文化高揚のため功労あるもの

支給総額：80万円

#### 4、神道芸能助成金制度

- (1) 当会の「神道芸能普及費支給規程」に基づき、神道芸能の普及・昂揚のため活動している個人及び団体に対して、援助金を支給し、その活動を支援している。

支援対象は以下の通りである。

- 1 歴史的民俗的に神道及び神社とかかわりある音楽ならびに舞踊(その他これに類するものを含む・以下同じ)
- 2 神道行事に関わる音楽ならびに舞踊
- 3 神社祭祀に関わる音楽ならびに舞踊
- 4 神道文化昂揚普及に関わる音楽ならびに舞踊

支給額：表彰選考委員会において決定。

## (2) 神道芸能普及費受給者の追跡調査の実施

本事業は平成元年より始まり本年度で 29 回となるが、受給者の活動状況を追跡調査し記録を作成することとする。

## 5、周年事業

当会は、神道文化の普及昂揚を目指し昭和 22 年 9 月に発足し、以来 5 年ごとに当初目的の貫徹を期して周年事業を実施してきた。本年の平成 29 年 9 月 13 日には、設立 70 年を迎えることとなり、70 周年事業を下記の通り計画している。  
なお、70 周年記念事業委員会の設置し、事業を推進することとする。

### (1) 『明治維新神道百年史』の復刻、出版

平成 30 年は、明治維新より数えて 150 年となる。本会では、51 年前に明治維新 100 年を記念して『明治維新神道百年史』五巻を刊行した。本書は、当時の神道関係研究者の粹を集めたもので、本会刊行物を代表する論文集であり、今なお対外の評価を得ている貴重な書籍である。絶版となった今、本会では、設立 70 周年にあたり、奇しくも明年は明治維新 150 年となるのを記念し、今一度この名著を復刻し、その存在を世に知らしめたい。

※全国主要図書館に配布予定。

### (2) 「明治維新 150 年記念近現代神道史」懸賞論文を募集

上記の『明治維新神道百年史』出版より 50 年が経過した現在、社会状況は大きく様変わりし、当然ながら近代神道史にかかる研究も進展した。当該分野を専門とする研究者も増えることで研究分野、領域は広がりを見せている。これらを踏まえ、本会では設立 70 周年を記念し、上記書籍の復刻出版とともに、今後の神社神道のあり方、神社、神職の進むべき方向を考える上で、我が国の喫緊の課題でもある過疎化社会、少子高齢化社会にあって、神社界あるいは神社神

道としての考え方を求められる問題のヒントを探すべく、特に近現代にかかる神道史をテーマに設定し、別紙 2 の通り懸賞論文を募集し、今後の神社神道のあり方の一助としたい。

※論文は機関誌「神道文化」31 号に掲載し、書籍としても出版予定。

(3)記念式典の開催

平成 30 年 5 月下旬を予定。

## II、その他の事業(出版等)

本会は、児童向け教化冊子「杜のシリーズ」8 冊を神道青年全国協議会と共同で企画・発行しているほか、一般財団法人に移行後、良書普及を目的に本会既刊書の復刻、再版等を行っている。

以上